

資料1

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善																																								
ガイドライン項目		(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項																																								
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す 幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを旨とする 					実績	15.1%	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 肥満の子どもの割合が1.3ポイント減少した。(肥満状況調査より) 大人の肥満者の割合は、26.4%(620人)いる。また、朝食を週3回以上欠食する割合が9.3%(219人)いる。(特定健診結果より) ごはんを中心とした日本型食生活を見直し実践することで、肥満の割合が減り、健康的な町民の割合が増えることを目標に、今後は、様々な方向から現状を把握し対策の検討が必要である。 																																		
	<p>目標</p> <table border="1"> <tr><td>平成16年度</td><td>16.0%</td><td>実績</td><td>15.1%</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>15.0%</td><td></td><td>15.9%(0.8%)</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>13.4%</td><td></td><td>15.8%(Δ0.1%)</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>11.8%</td><td></td><td>14.6%(Δ1.2%)</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>10.2%</td><td></td><td>14.8%(0.2%)</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>8.6%</td><td></td><td>13.7%(Δ1.1%)</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>7.0%</td><td></td><td>12.2%(Δ1.5%)</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>7.0%</td><td></td><td>12.8%(0.6%)</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>7.0%</td><td></td><td>11.5%(Δ1.3%)</td></tr> </table>	平成16年度	16.0%	実績	15.1%	平成17年度	15.0%				15.9%(0.8%)	平成18年度	13.4%		15.8%(Δ0.1%)	平成19年度	11.8%		14.6%(Δ1.2%)	平成20年度	10.2%		14.8%(0.2%)	平成21年度	8.6%		13.7%(Δ1.1%)	平成22年度	7.0%		12.2%(Δ1.5%)	平成23年度	7.0%		12.8%(0.6%)	平成24年度	7.0%		11.5%(Δ1.3%)			
平成16年度	16.0%	実績	15.1%																																							
平成17年度	15.0%		15.9%(0.8%)																																							
平成18年度	13.4%		15.8%(Δ0.1%)																																							
平成19年度	11.8%		14.6%(Δ1.2%)																																							
平成20年度	10.2%		14.8%(0.2%)																																							
平成21年度	8.6%		13.7%(Δ1.1%)																																							
平成22年度	7.0%		12.2%(Δ1.5%)																																							
平成23年度	7.0%		12.8%(0.6%)																																							
平成24年度	7.0%		11.5%(Δ1.3%)																																							
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当																																			
	① 朝食欠食状況調査の実施	総合健診時のアンケート実施	各年代(30歳以上)の状況把握	0	0		健康保険課 教育委員会																																			
	② 肥満状況の把握	保育所幼稚園及び小中学校の身体測定と特定健診のデータから把握	対象者1,418人(3~15歳)1,600人(特定健診受診者)	0	0	3~15歳 1,418人 特定健診 1,647人																																				
	③ 朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18	0	補修なし	健康保険課																																			
	④ 正しい生活(食も含む)習慣の啓発ちらし配布	チラシ作成及び配布	年数回実施	150	20	広報に健康通信を掲載年6回	健康保険課																																			
	⑤ 朝ごはん運動の推進啓発活動	成人式などの開催時		0	0	成人式にチラシ等を配布し、啓発活動をした	教育委員会																																			
計				168	20																																					

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(2)家庭での食に対する理解の促進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		<ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す ・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す ・毎日1個のりんごを食べる 			<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた事業は、ほぼ達成できた。 ・塩分摂取量は12.0gで、昨年度より0.8g減少した。 (総合健診結果より) ・健診時に提供した理想の塩分量の朝食を食べた人へのアンケートでは、塩味が薄いと答えた割合が41.0%いた。また、1日に食べる野菜の理想的な量(350g)を知る人の割合は35.9%であった。 ・今後も引き続き、具体的に野菜の量や味の濃さを知ってもらうための調理教室や試食等の健康教育が必要である。 			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	104	91	いのちのまつりでは、試食提供506人	健康保険課	
	② 町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間(20日)に実施(1,000食:50食/日)	237	187	19回(950食)実施	健康保険課	
	③ 離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月の母親を対象に実施	各月1回実施	104	43	36回実施	健康保険課	
	④ 若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年5回	79	35	5回(103人)実施	健康保険課	
	⑤ PTA調理実習	PTA会員を対象に実施	年1回	5	5	希望するPTAに2回実施	健康保険課	
	⑥ 野菜を多く使った料理教室の実施	一般町民を対象に実施(鶴遊館、豊明館使用)	年6回	137	112	6回(115人)実施	健康保険課	
	⑦ 尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,000人 目標 平均12.0g	84	84	2,279人に実施	健康保険課	
計				750	557			

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす 			実績			評価	
				食生活改善料理教室等の色々な場面で安全な食品である地場産品の利用及びすすめをしている。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	地区伝達講習会の実施	安全な食品及び栄養に関する情報提供	年10回実施	0	0	6回実施	健康保険課
	新②	食生活と栄養に関する学習の場づくり	いのちのまつり開催時食生活改善推進員及び栄養士会による情報提供	いのちのまつり時実施	0	0	2回実施	健康保険課
	計				0	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進																																			
ガイドライン項目		(1) 規則正しい生活習慣の促進に関する事項																																			
ガイ ド ラ イ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す ・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2000(H12)実績</th> <th>2010(H22)実績</th> <th>県下順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>50.5%</td> <td>39.4%</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>43.2%</td> <td>56.6%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>46.9%</td> <td>64.2%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>85.7%</td> <td>83.1%</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>45.7%</td> <td>39.6%</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>49.5%</td> <td>21.8%</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>				2000(H12)実績	2010(H22)実績	県下順位	特定健診	50.5%	39.4%	7	胃がん検診	43.2%	56.6%	1	大腸がん検診	46.9%	64.2%	1	肺がん検診	85.7%	83.1%	1	子宮がん検診	45.7%	39.6%	7	乳がん検診	49.5%	21.8%	18	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒については「毎日飲んでいる」割合は24.3%である。 ・喫煙については「習慣がある」割合は18.0%である。 ・妊婦の喫煙は4.7%であり、前年度より3.0ポイント減少した。 ・「睡眠で休養が十分とれている」割合は74.6%であり、4人に1人が睡眠不足を感じている。 ・特定健診は目標の65%に達していないため、今後も受診率向上に向けた対策が必要である。 ・胃、大腸、肺がん検診の受診率は県内で1位を維持しているが、婦人健診の受診率が低いため、引き続き、受診率向上に向けた対策が必要である。 ・健診率日本一推進対策地区委員会連合会を開催し、各地区委員会の活性化と今後の取り組みについて協議した。 ・若い頃からの健康づくりと健診受診の習慣化を目的に平成22年度より30歳からの健診受診を勧めている。(特定健診、胃、大腸) 			評価	
		2000(H12)実績	2010(H22)実績	県下順位																																	
特定健診	50.5%	39.4%	7																																		
胃がん検診	43.2%	56.6%	1																																		
大腸がん検診	46.9%	64.2%	1																																		
肺がん検診	85.7%	83.1%	1																																		
子宮がん検診	45.7%	39.6%	7																																		
乳がん検診	49.5%	21.8%	18																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・鶴田町健診率日本一推進対策委員会及び地区委員会組織の活性化を図り、受診率向上を目指す ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す <p>(注) 乳がん検診については、H20年度から60歳以上のマンモグラフィのみの受診は統計に反映されなくなったため受診率が低くなっている。</p>																																					
実 施	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課																														
	① 生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年100回実施	39	0	生活習慣病予防、健診のすすめ及び健康体操など、延べ12,093人を対象に194回実施	健康保険課																														
	② 健康診査の実施	特定健診		目標受診数 2,900人	2,008	1,873	対象者数4,139人 受診者数1,647人 (39.8%)	健康保険課																													
		胃がん検診		目標受診数 2,000人	11,100	10,376	対象者数3,286人 受診者数1,848人 (56.2%)																														
		大腸がん検診		目標受診数 2,500人	4,716	4,650	対象者数3,722人 受診者数2,410人 (64.8%)																														
		肺がん検診		目標受診数 4,000人	3,670	3,649	対象者数4,298人 受診者数3,525人 (82.0%)																														
		子宮がん検診(卵巣がん含む)		目標受診数 740人	4,260	3,609	対象者数3,021人 受診者数1,246人 (41.2%)																														
	乳がん検診		目標受診数 310人	3,486	2,945	対象者数2,557人 受診者数 542人 (21.2%)																															
③ がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診要精検者の検査料の一部を補助	500人 (限度額4,000円)	1,473	710	がん精検対象者数500件 補助申請件数271件(54.2%) 一人あたり平均2,620円																																

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

計 画	新④	健診に関する意識調査と受診勧奨	全地区訪問し、意識調査と受診勧奨をする	各地区10世帯程度	0	0	44地区465世帯	健康保険課
	⑤	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数30人	45	45	10月6～7日町公民館及び鱒ヶ沢町、深浦町にて1泊2日で開催。小学生4～6年生26人、中学生9人参加	教育委員会
			通学合宿で体験学習	年1回実施 参加目標者数24人	60	60	9月18日～9月22日鶴田町公民館で4泊5日で開催。小学生5・6人25人が参加	教育委員会
	⑥	朝の10分間読書	町内全小中高等学校で実施	毎日実施	900	900	毎日実施	教育委員会
	⑦	鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年1回実施	0	0	活動量調査を基にした学習会 7月27日実施	教育委員会
	⑧	学力向上・食育推進研修会	小中学校・保育所等の教育関係者及び中学生を対象	随時実施	250	250	活動量調査を基にした学習会 8月4日実施	教育委員会
	計				32,007	29,067		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガイドライン項目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガイドライン				実績		評価		
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す 				<p>1歳6か月児と3歳児をもつ保護者176人に対して、就寝・起床時間の調査を行い、171人から回答があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起床時刻は、6時30分までに起きている子どもが90人(52.6%)、6時30分すぎに起きている子どもが81人(47.4%)であった。 ・就寝時刻は、21時までに寝る子どもが93人(54.4%)、22時までが69人(40.4%)、23時までが4人(2.3%)、23時すぎが5人(2.9%)であった。 ・1歳6か月児よりも3歳児の方が就寝時間が遅い傾向にあった。 <p>適正な生活リズムの定着を図るため、出産して間もない時期から保護者への支援を行っており、特に就寝時刻が遅い子どもをもつ保護者には21時までの就寝を勧めている。</p>		○	
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	①	就寝、起床時間の調査の実施	対象：3歳から15歳まで	「食生活等状況調査」(3年に1回の実施であり、今年の実施は無し。)と一体的に実施。(平成25年度の実施予定)	0	0	3年に1回の実施であり、今年の実施は無し。	健康保険課 教育委員会
	新②	乳幼児の就寝、起床時間の調査の実施	幼児健診における調査	年8回実施	0	0	1歳6か月児健診 4回 81人 3歳児健診 4回 95人	健康保険課
	新③	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 年12回 乳児健診 年36回 1歳6か月児健診 年4回 3歳児健診 年4回	0	0	誕生証書交付式 12回 54人 乳児健診 36回 222人 1歳6か月児健診 4回 81人 3歳児健診 4回 95人	健康保険課
	④	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0	0	入学式 1回実施 PTA総会 1回実施	教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0	0	随時実施	
計					0	0		

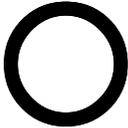
平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
	<p>・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する</p>			<p>・農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 ・食品衛生法に基づく残留農薬のポジティブリスト制度についての講習会等を開催し、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。</p>			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年1回開催	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬使用現地講習会（共防連） 4月26日 5月24・25日 6月25・26日 参加者延べ 202人 ・共防連幹部研修会 7月27日 参加者 60人 ・産直友の会講習会 5月30日 参加者 98人 	産業観光課
	② ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	208	208	<ul style="list-style-type: none"> ・農事普及だより 8回配布 ・水稻現地講習会 7月10日 9月12日 参加者延べ 40人 	産業観光課
	計				208	208	

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			・農産物の安全性と消費者への信頼性確保のため、トレーサビリティの検討会と「あるじゃ産直友の会」を中心とした生産履歴等の研修会を開催した。			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 7月10日 9月12日 参加者延べ 40人	産業観光課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（GAP）の推進	研修会等の開催及び認証取得活動への経費支援	年1回開催 認証取得経費補助	130	0	あるじゃ産直友の会研修 5月30日 参加者 98人	産業観光課
	計				130	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正JAS法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のJAS規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する			・消費者への信頼性確保のために、JAS法及び食品衛生法に基づく食品表示等についての研修会を実施した。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習への参加	随時	0	0	あるじゃ産直友の会役員等による参加	産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0	0	あるじゃ産直友の会研修 5月30日 2月14日 参加者 延べ164人	産業観光課
	計				0	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(4) 環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取組む産地を育成する ・ 土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会等において、県特別栽培農産物認証制度についてのチラシなどによる周知活動を実施した。 ・ エコファーマーの新規認定及び再認定に係る申請手続きの誘導を図るため、制度内容の周知チラシを配布した。 ・ 環境保全農業については、町認定農業者等協議会が稲わら焼却防止宣言による取り組みを行っている。 		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証農家8戸	0	0	認証7(農家及び法人)	産業観光課
	② エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者170戸	0	0	認定者150戸	産業観光課
	③ 日本一健康な土づくり実践事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行う	随時	0	0	町認定農業者等協議会による環境保全農業(稲わらすき込み)を実施	産業観光課
	計				0	0	

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する			・町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	①	食品の安全及び安心に係る情報	地域住民へ町機関誌並びにチラシやパンフレットなど活用して農産物の安全・安心の理解を求める	0	0	チラシ『「食の安全・安心」情報』を10月に配布	産業観光課
	計			0	0		

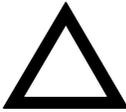
平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る 地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る 			実績			評価	
				<ul style="list-style-type: none"> グリーンツーリズムの拠点施設である「あるじゃ」を核として、町内に点在する各観光農園（さくらんぼ、ぶどう、りんご）マップを町HPに掲載し、県内外への情報発信が図られた。 当町産の大豆、米、小麦の加工商品の開発及び製造・販売により、地産地消の推進が図られた。 			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光・体験農園組織の育成	観光農園の新規開設および会員の拡大と連携	0	0	あるじゃ及び町HPからの情報発信により、県内外へのPR活動を実施した。	産業観光課
	②	大豆・米加工施設の利用促進	利用状況等により新商品開発	随時	0	0	大豆、米、小麦の加工商品の開発、製造・販売を行った。	産業観光課
	計				0	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(2) 町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項						
ガイドライン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる			実績			評価	
				・当町産の認証米「鶴の輝き」及び大豆加工品については、店頭販売以外にも学校給食等への利用などで消費が図られた。			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	あるじゃ23,000kg 学校給食13,000kg 町内小売店他9,000kg	0	0	仕入量 19,440kg 加工量 18,585kg 内訳 学校給食 12,034kg 米粉 1,778kg その他 4,773kg	産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	11,000kgをあるじゃ米大豆加工施設で豆腐、テンペ等に加工し販売する	0	0	仕入量 6,600kg 加工量 9,632kg (前年仕入分含む) 内容 学校給食 2,300kg 豆腐 6,218kg 味噌 791kg その他 177kg ソフト・シェーク 11,089個	産業観光課
				小麦「ゆきちから」12,000kgをあるじゃ大豆米加工施設で加工し販売する	0	0	仕入量 2,520kg 加工量 12,000kg (前年仕入分含む) びっくりパン、食パン 米粉パン、乾麺などに使用	産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年12回開催(教養講座)	96	96	鶴田町公民館で料理教室を5～7月まで、月4回、計12回開催。	教育委員会
年1回開催(農家女性いきいき講座)				25	10	農家女性いきいき講座で米・野菜料理を実習	産業観光課	
計				121	106			

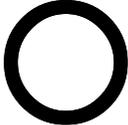
平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項					
ガイドライン				実績		評価	
	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			○平成24年度で学校給食に使用した地場産品は、米、野菜、果実等20品目で、地場産の使用量割合は食材全体使用量の66.5%である。内訳については鶴田産が17.4%、青森県産が49.1%となっており前年度比ではそれぞれプラス0.4%、プラス0.6%の微増となっている。 作物等は天候・気象状況に左右される事もあるが、地場産品をより安定的に供給するためには、応援隊の増員や関係機関との連携をより強固にすると共に新たな体制作りも必要である。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	ジャガイモ、玉ねぎ等 5,000kg	0	0	野菜の使用量2,750kg ジャガイモ 571kg ニンジン 409kg たまねぎ 160kg 長ねぎ 426kg だいこん 518kg はくさい 175kg トマトケチャップ 32kg みそ 205kg 外	教育委員会
	② 学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を使用 11月からりんごを提供	0	0	米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」で提供。 りんご（無償）2816kg ブドウ（無償）80kg	教育委員会
	計			0	0	/	/

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガイドライン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実績			評価
				・町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られた。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	さくらまつり、つるたまつり（米消費拡大イベント「龍巻寿司」）、農産物展、各種特産市等で紹介・販売	年6回開催	667	484	・西北地方産直の日（あるじゃ） 7月15日 11月18日 ・龍巻寿司（つるたまつり） 8月18日 ・農産物展11月16～18日 ・鶴田中学校部活動支援おにぎり用に鶴の輝き50kgをJAが提供 ・鶴田高校スポーツ大会へ鶴の輝き40kgをJAが提供
成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用			年3回開催	39	39	ｽﾍﾞｸﾗﾘｰ 10月8日開催 成人式 1月3日開催 実年式 2月11日開催	教育委員会
フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介			年2回実施	705	634	・外国青年による津軽弁大会（6月16日） ・新年を祝う会（1月7日）	総務課
②	町外イベントでの地場産品の紹介	かわさき市民祭りで紹介・販売	年1回参加	268	228	上野駅地産品ショップへの出展 1月8日～15日	産業観光課
		ふるさと鶴田会、県庁鶴田会で紹介	年2回実施	380	335	・県庁鶴田会（7月2日） ・ふるさと鶴田会（7月7日）	総務課
計				2,059	1,720		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			それぞれの小学校において、実際の農作業を経験し、収穫の喜びと共に食への知識向上を図った。また、料理教室は自分で料理をするきっかけ作りや親子の絆を深めることに役だった。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年20回実施	111	111	19回実施(379人)	健康保険課
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(6校)	0	0	米づくり(3校) りんごづくり(5校) 野菜づくり(5校)	教育委員会
	③	地域子ども教室推進事業	各小学校を対象に親子料理教室「キッズインザキッチン」の実施	全小学校	60	60	2月2日 町公民館 39人 2月9日 町公民館 18人	教育委員会
	計				171	171		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す			青森県の事業とタイアップした講演会を通じ、食に関する知識や規則正しい生活習慣の育成を図った。		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 食育と生活リズム推進委員会	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年2回実施	0	0	年2回実施 「健康教育教室」 日時 7月27日 場所 豊明館 講師 町健康保険課 (健康運動指導士) 鬼武由美子 「子どもの生活習慣と肥満について」 日時 翌年2月18日 場所 町公民館 講師 町医療管理推進監 (医師) 小野正人	教育委員会
	計			0	0		

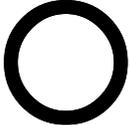
平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項						
ガイドライン				実績		評価		
		<p>・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す</p>			<p>・郷土食と行事食を13回実施。学校給食応援隊と連携し地元食材を使用している。 ・地元食材を活用した食に関する指導を実施した。 ・郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。</p> <p>4月－入学進級お祝い（お祝いイチゴゼリー） 5月－こどもの日（柏餅） 6月－虫歯予防週間（カシューナッツと小魚入り） 7月－七夕（七夕ゼリー） 8月－8/31（夏野菜カレー） 9月－十五夜（栗ごはんと白玉汁） 10月－ハロウィン（かぼちゃプリン） 11月－ふるさと産品の日（ぶどう・さつまいも入りごはん） 12月－クリスマス（クリスマスケーキ） 1月－正月（けの汁・子和え） 2月－節分（福豆） 3月－雑祭り（桜餅・卒業お祝いクレープ）</p> <p>・11月に鶴田小学校において生徒と生産者が顔の見える「給食交流会」を開催した。</p>		○	
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年13回実施	0	0	郷土食と行事食を13回実施。学校給食応援隊との給食交流会。	教育委員会
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年60回実施	0	0	鶴田小学校他60回実施	教育委員会
	計				0	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項					
ガイドライン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			実績			評価
				フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使と保護者が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	50	50	フッドリバー訪問団員20人、テーブルマナー参加者47人	教育委員会
	計			50	50		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		6 米文化の継承						
ガイドライン項目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			町内外でのイベントにおいて、農産物等の販売による消費者との交流が図られた。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各地で行われる特産品紹介イベント等に積極的参加	随時実施	0	0	上野駅地産品ショップへの出展 1月8日~15日	産業観光課
	②	道の駅を中心とした情報交流の場の開催	農協及び農業団体が連携して消費者と交流	年2回開催	0	0	西北地方産直の日(あるじゃ) 7月15日 11月18日	産業観光課
	計				0	0		

平成24年度 朝ごはん運動実績報告

基本方針		6 米文化の継承					
ガイドライン項目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す 			川崎市京町小での田植え体験や管内小学校児童を対象とした田んぼの楽校（年4回）を開催し、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られた。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	① 米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	4小学校（鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小） 川崎京町小（学校田体験学習） 田んぼの楽校の開催	30	39	ｽﾌﾟﾚｯｸﾘｰ 10月8日開催 成人式 1月3日開催 実年式 2月11日開催	教育委員会
	② 歴史文化の伝承事業	米料理や伝統料理を継承、昔の農具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	338	304	12月26日、サンシャインスクールの子供たちを対象に、縄なり・餅つき体験。参加者21名。	教育委員会
	計				592	503	

合計	36,256	32,402
----	--------	--------